

G空間サミット2021

「冒険観光 ちずあそび」

コロナ禍におけるGISと健康と地域貢献について

(後編：大学教育における可能性)

片岡寛之

北九州市立大学地域戦略研究所・地域創生学群 教授

(株)北九州家守舎 取締役

(株)寿百家店 取締役

地域創生学群とは

設立年度：2009年4月（現在12年目）

教育目標：地域の再生と創造を担う人材を育成する

教育理念：**実践と理論の両立**

定員：120名（設立当初は90名）

合い言葉：「なければ、つくればよい」

実践重視のデフォルト

＜初年時教育の徹底＞

ラーニング・ポートフォリオ作成、マナー研修、リフレクション研修
ラジオ番組制作 etc

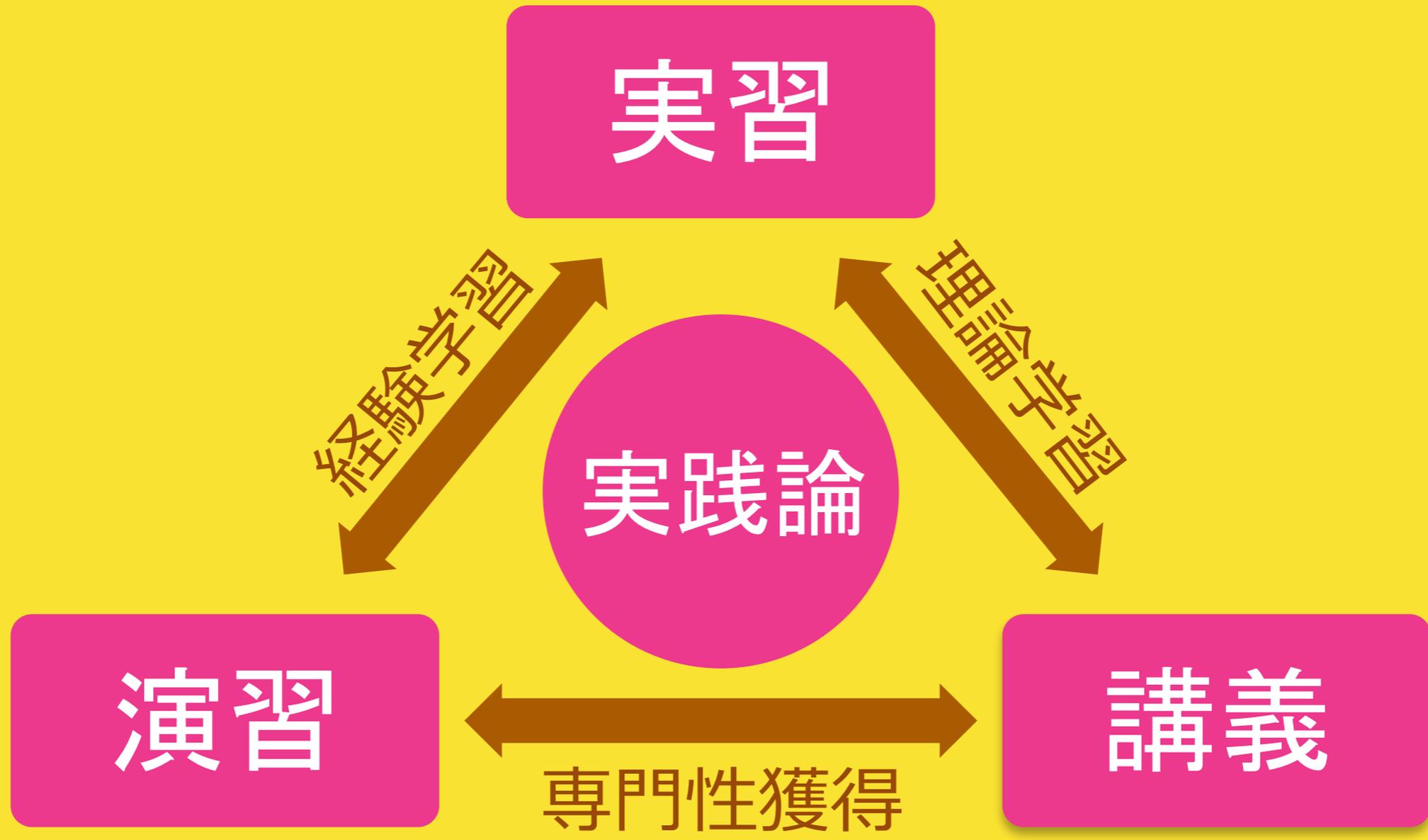
＜実践活動1～3年次＞ ※来年度以降は1-2年次

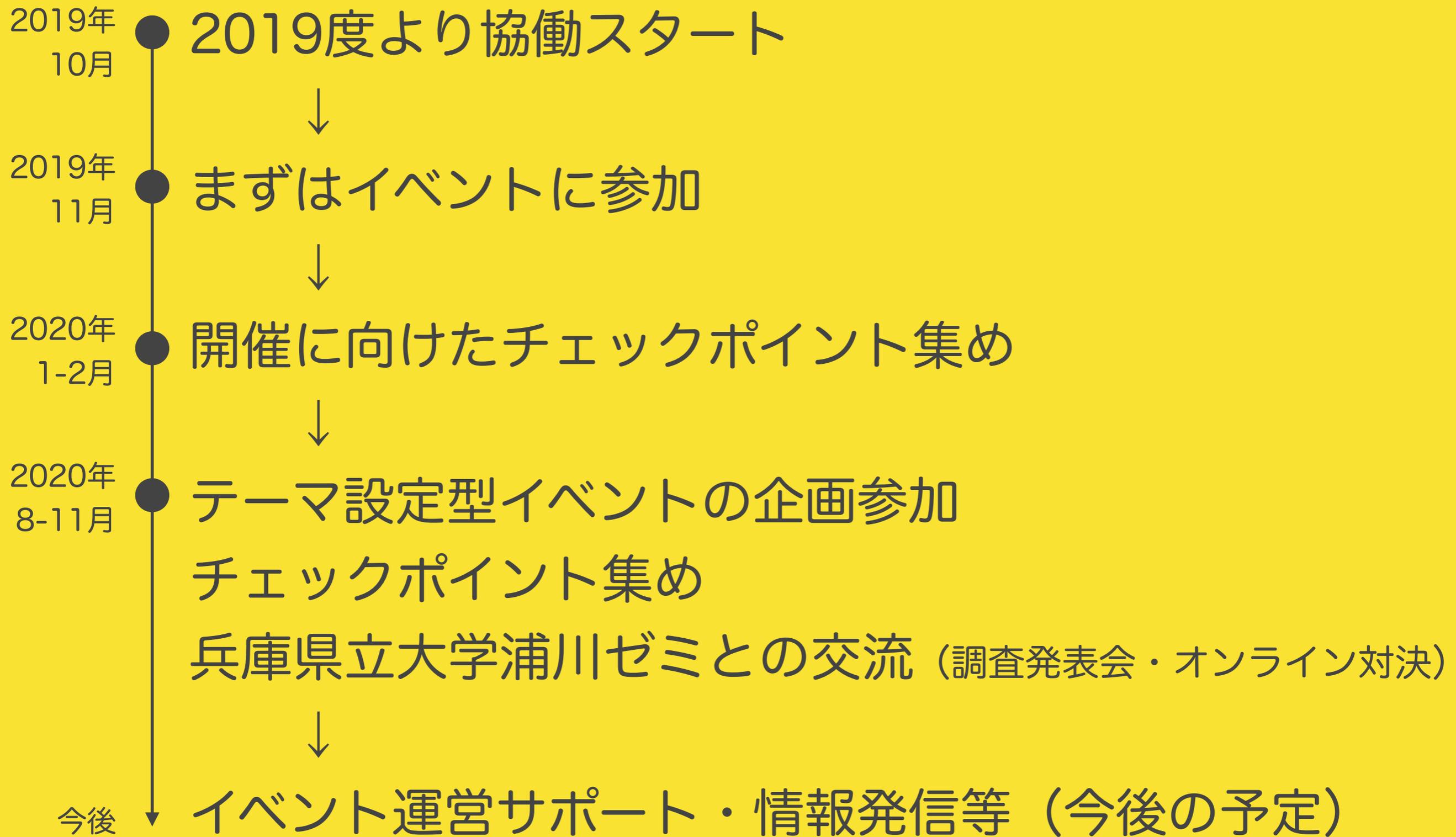
様々なフィールドの実習メニュー

約15のチームで常時約300名の学生が活動

(商店街、農村、学校、住宅地、福祉施設、スポーツ etc)

<地域創生学群での学びのイメージ>





<参加した学生たちの感想>

- ・ 普段意識しない視点で街を見ることができた
- ・ 普段気づかないものに気づくことができた
- ・ ゲーム感覚で街を知ることができる
- ・ 素敵な景色に出会うことができた
- ・ 街や人との新たな出会いがある
- ・ 色々なコミュニケーションがとれた
- ・ 体を動かしながら街の雰囲気を体感
- ・ 実際に行ってみて分かることがある
- ・ 適度な運動になる
- ・ 1人で歩くより何倍も楽しい



新たな発見／コミュニケーション／街を味わう／楽しみながら学べる



<大学側の課題>

- ・ 情報収集、調査能力の向上
- ・ GISの仕組み理解と活用
- ・ 街に関する幅広い知識の獲得
- ・ 調査費用等

※今後もう少し深く関わらせていただくなかで、
新たな課題が出てくることが予想されます



<今後の可能性について>

- ・ ゲーム感覚で地域に貢献する仕組みとして普及
 - 地元・地域内のお店で消費（地域貢献ポイント）
 - シビックプライドの醸成
- ・ 多様な主体との協働
 - チームビルディングや研修、教育等のツールとして活用（企業、学校 etc）
 - 特定のテーマでの実施（利用促進、販売促進、普及啓発 etc）
- ・ 他地域への展開
- ・ 様々なツールを利用した開催 など

